

$xy$  平面上に 4 点  $O(0, 0)$ ,  $A(-1, 2)$ ,  $B(2, 1)$ ,  $P(u, v)$  がある. 点  $P$  が

$$\overrightarrow{OP} = \overrightarrow{OA} \cos \alpha + \overrightarrow{OB} \sin \beta \quad (\text{ただし, } 0 \leq \alpha \leq \pi, 0 \leq \beta \leq \pi)$$

を満たすとき, 点  $P$  の存在する領域を図示せよ.

(13 信州大 教育 3)

略  
解答は次のページにあります.

## 【チェック・チェック】

領域の図示の問題です。α, β は独立に動く変数です。まずは一方を固定したときの動点 P の動きを調べ、次に固定してあったものを動かし全体像を求めます。

成分計算して α, β の存在条件に持ち込むこともできます。

【解答】

$$\vec{OP} = \vec{OA} \cos \alpha + \vec{OB} \sin \beta \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

ただし、 $0 \leq \alpha \leq \pi, 0 \leq \beta \leq \pi$  より

$$-1 \leq \cos \alpha \leq 1, 0 \leq \sin \beta \leq 1$$

である。

いま、α を固定し、 $\vec{OC} = \vec{OA} \cos \alpha$  すると、①は

$$\vec{OP} = \vec{OC} + \vec{OB} \sin \beta$$

であり、P は点 C を通り、 $\vec{OB}$  と平行な直線上を動く。sin β は  $0 \leq \sin \beta \leq 1$  の範囲で変化するため、P は右図の線分 CD 上を動く。

次に、cos α を  $-1 \leq \cos \alpha \leq 1$  の範囲で変化させると、右図で C は線分 AA' 上を A' から A まで動く。このとき、D は線分 EF 上を E から F まで動く。

ただし、4 点 A, A', E, F の座標は

$$A(-1, 2), A'(1, -2), E(3, -1), F(1, 3)$$

である。

よって、P の存在範囲は、右図の長方形 AA'EF の周および内部である。……(答)

- 点 P の座標を (x, y) とおくと

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1 \\ 2 \end{pmatrix} \cos \alpha + \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix} \sin \beta$$

$$\begin{cases} -\cos \alpha + 2 \sin \beta = x \\ 2 \cos \alpha + \sin \beta = y \end{cases}$$

$$\therefore \cos \alpha = \frac{-x + 2y}{5}, \sin \beta = \frac{2x + y}{5}$$

また、 $0 \leq \alpha \leq \pi, 0 \leq \beta \leq \pi$  より

$$-1 \leq \cos \alpha \leq 1, 0 \leq \sin \beta \leq 1 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

である。

P が求める領域内の点であるための条件は、①を満たす α, β が存在することであるから

$$\begin{cases} -1 \leq \frac{-x + 2y}{5} \leq 1 \\ 0 \leq \frac{2x + y}{5} \leq 1 \end{cases}$$

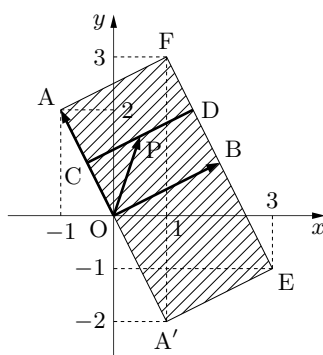
$$\therefore \begin{cases} -5 \leq -x + 2y \leq 5 \\ 0 \leq 2x + y \leq 5 \end{cases}$$

である。これを図示すると、解答の長方形 AA'EF の周および内部となる。

← チェクリビ (374)

変数が 2 個あるときは、まず一方を固定し、他方を動かしたときの様子を調べる。

← 直線のベクトル方程式である。



← この言い回しが、大切。